

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-293805(P2006-293805A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-115456(P2005-115456)

【国際特許分類】

**G 05 D 7/06 (2006.01)**

**B 41 F 21/00 (2006.01)**

**F 16 K 3/00 (2006.01)**

【F I】

**G 05 D 7/06 Z**

**B 41 F 21/00**

**F 16 K 3/00 D**

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図2に全体を符号20で示すエア流量調整装置は、直方体状に形成された弁箱21と、この弁箱21の後述する第1のエア通路24と第3のエア通路26との間の第1の接続部27および第2のエア通路25と第3のエア通路26との間の第2の接続部28を縦断するように、矢印B-C方向へ移動自在に支持されたエア流量調整手段としての流量調整用プレート22とによって概ね構成されている。弁箱21の内部には、矢印B-C方向に延在し矢印B方向の端部が開口された扁平状の非貫通孔23が設けられており、この非貫通孔23には上記流量調整用プレート22が矢印B-C方向に移動自在に支持されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

図2において、35はワイヤーであって、一端部側が流量調整用プレート22の矢印B方向の端部に枢着されており、他端部が操作レバー36の揺動端部36aに枢着されている。操作レバー36は中央部が軸37によって揺動自在に支持されており、操作側端部36bに対応して流量調整用プレート22の移動量を付した目盛り38が設けられている。したがって、操作レバー36を軸37を中心として時計方向または反時計方向へ回動操作することにより、ワイヤー35を介して流量調整用プレート22が矢印B方向または矢印C方向へ移動する。